

週間漁海況情報 2022年第9号

令和4年3月1日発行

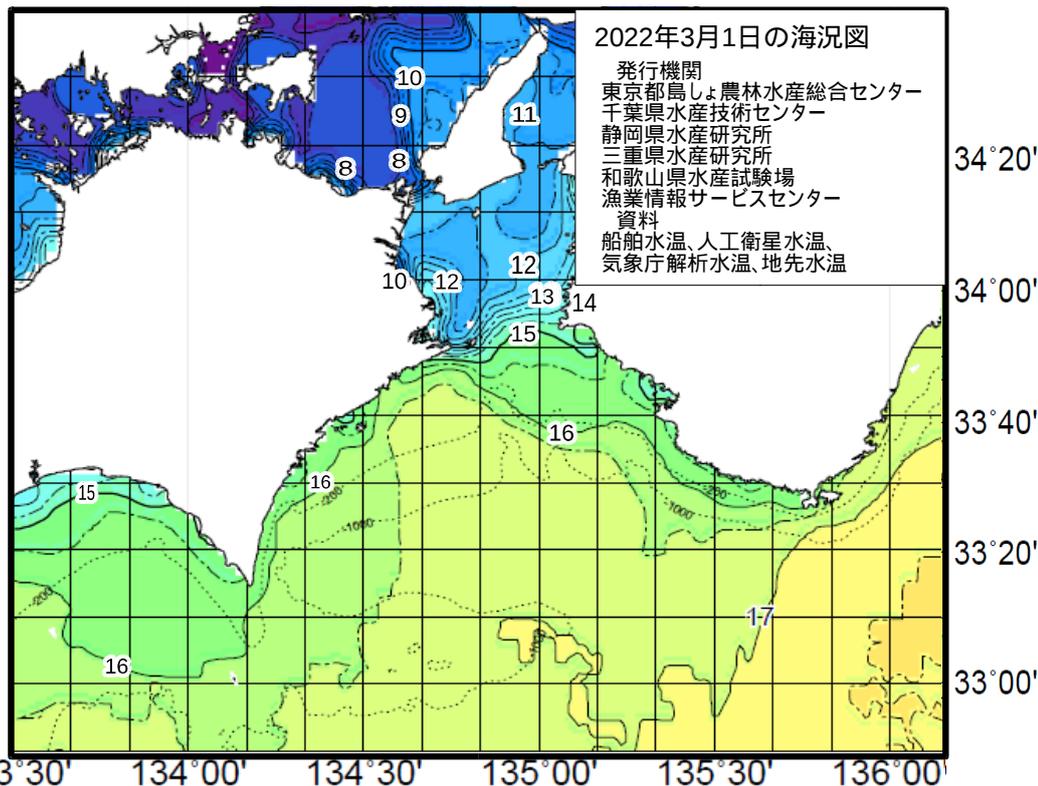
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖122マイル、潮岬沖124マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」している。このため、黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は引き続き弱い。外域は15,16 台の水塊に覆われている。

黒潮の表面水温は19,20 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が7~10 台、紀伊水道が9~14 台、海部沿岸が14~16 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

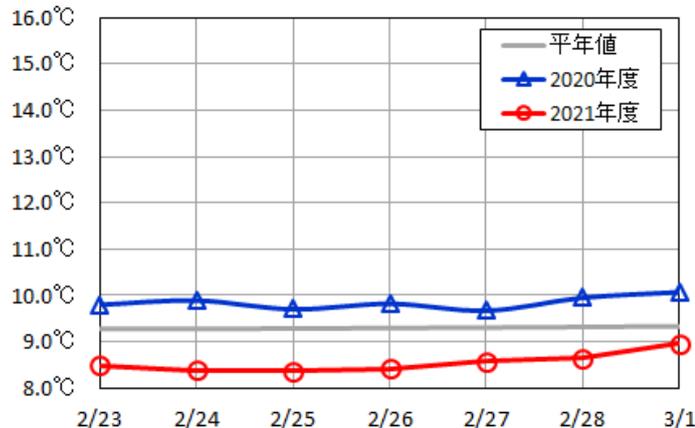
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

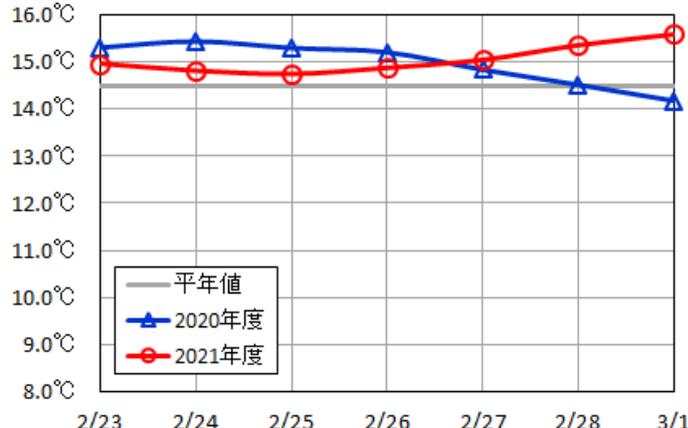
2. 地先水温(2月23日~3月1日)

鳴門地区の水温は8.4~9.0 で「やや低め」から「平年並み」、日和佐地区は14.8~15.6 で「平年並み」から「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は6.4~6.7 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上

平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(3月2日~3月8日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや高め」、日和佐地区は「やや高め」に推移する見込み。

漁況 (2月21日～2月27日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

延縄では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に1ト、シマフグが0.5ト、サワラが増えて0.2ト水揚げされた。

建網では、メジナが大きく増えて0.3ト、タカノハダイが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、コノシロが大きく増えて23.9ト、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.8ト、ボラが大きく増えて大主体に0.4ト、マアジが大きく増えて特大主体に0.2ト、ヒラメが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大きく増えて大主体に1ト、マダイが大きく増えて0.6ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、ブリが増えてめじろ級主体に4.6ト、タチウオが大きく増えて1.3ト水揚げされた。

延縄では、ブリが増えてめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが増えて0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが小あじ主体に0.6ト、ブリが減って0.4ト、イシダイが大きく増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	39	ブリ	964	25	めじろ級主体	
		25	シマフグ	457	18		→
		25	サワラ	214	9		
	建網	42	メジナ	287	7		
		41	タカノハダイ	224	5		
	小型定置網	5	コノシロ	23,930	4,786		
		14	ブリ	824	59	めじろ級主体	
		10	ボラ	413	41	大主体	
		13	マアジ	246	19	特大主体	
		13	ヒラメ	200	15		
底びき網	26	コウイカ	1,008	39	大主体		
	21	マダイ	608	29			
海部沿岸	釣り	69	ブリ	4,625	67	めじろ級主体	
		20	タチウオ	1,286	64		
	延縄	6	ブリ	267	45	めじろ級主体	
	小型定置網	15	カタクチイワシ	272	18		
	大型定置網	6	マアジ	594	99	小あじ主体	→
		6	ブリ	356	59		
6		イシダイ	313	52	大主体		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: